



Title	IDUN ー北欧研究ー 16号 彙報
Author(s)	
Citation	IDUN ー北欧研究ー. 2005, 16, p. 261-268
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/95592
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

彙報

(1998年10月から2005年1月末までに研究室スタッフが公刊したもの。なお、新任のスタッフは原則として着任以降公刊したもの。)

古谷大輔

1. “A Historiography in Modern Japan: the laborious quest for identity”, *Scandia: Tidskrift för historisk forskning* vol. 68 no. 1, ss. 121-137. Historiska Institutionen, Lund, 2002.
2. 「スウェーデン歴史紀行(一) スコーネの記憶と「スウェーデン」」, 『歴史と地理』551号, pp. 23-32. 山川出版社, 2002年2月20日発行.
3. 「スウェーデン歴史紀行(二) リュッツェン — グスタヴ・アードルフの記憶を辿る旅」, 『歴史と地理』554号, pp. 24-34. 山川出版社, 2002年5月20日発行.
4. 「バルト海帝国とスコーネの「スウェーデン化」」, 本誌15号, pp. 275-296. 2003年2月28日発行.
5. 「2003年の歴史学界 回顧と展望 近代 — ロシア・東欧・北欧」, 『史学雑誌』第113編 第5号, pp. 367-370. 史学会, 2004年5月20日発行.
6. 「スウェーデン文化の歴史的 premise」, 『人間科学研究』第11巻 第2号, pp. 159-170. 神戸大学発達科学部人間科学研究センター, 2004年12月13日発行.

石黒 暢

1. 「共働き夫妻の相互関係の分析 — 日本とスウェーデンの比較を通じて —」(斉藤弥生・石黒暢共著), 本誌13号, pp. 145-216. 1998年12月1日発行.
2. 『家族関係の多様化と家族福祉政策に関する研究』(松田智子・善積京子・斧出節子・木村清美・斉藤弥生・釜野さおり・石黒 暢・木村泰子共著). [分担: 第1部Ⅱ-5「仕事と育児・介護の両立」(pp. 59-66), 第2部Ⅱ-2-4「高齢者介護と家族 ケース4」(pp. 155-160)]. 平成9-10年度科学研究費補助金(基盤研究(B)(1))研究成果報告書, 1999年3月発行.
3. 『スウェーデンの家族福祉政策と家族関係の関連性についての研究』(善積京子・斧出節子・木村清美・松田智子・釜野さおり・石黒 暢・木村泰子共著). [分担: 第2部Ⅰ「高齢者の生活を支援する政策」(pp. 91-111)]. 平成10

- 年度科学研究費補助金（国際学術研究）研究成果報告書，1999年3月発行。
4. 『世界の社会福祉 6 デンマーク・ノルウェー』（仲村優一・一番ヶ瀬康子編）。[分担：デンマークの社会福祉第1部Ⅱ「高齢者福祉」（pp. 37-61），ノルウェーの社会福祉第1部Ⅶ「ノルウェーの開発援助」（翻訳）（pp. 374-379），ノルウェーの社会福祉第2部Ⅴ「ノルウェーの保健システムの発展史」の3（2），（3），4（翻訳）（pp. 480-496）]。旬報社，1999年3月31日発行。
 5. 『社会福祉の国際比較』（阿部志郎・井岡勉編）。[分担第Ⅲ部「社会福祉の国際比較—文献レビュー」のうち「監修：隅谷三喜男・日野原重明・三浦文夫，編著（監訳）：福地義之助・冷水豊『長寿社会総合講座 [10] 高齢化対策の国際比較』第一法規出版，1993年」のレビュー（pp. 296-299）；Greve, Bent, *Comparative welfare systems – The Scandinavian model in a period of change*, Macmillan Press Ltd., 1996 のレビュー（pp. 411-413）]。有斐閣，2000年3月31日発行。
 6. 「書評 ノルウェー環境省編 女性とまちづくり研究会訳「女性のための草の根まちづくり」」，『地域福祉研究』No. 28, pp. 119-120. (財)日本生命済生会，2000年5月10日発行。
 7. 『新しい高齢者住宅と環境 — スウェーデンの歴史と事例に学ぶ』（翻訳）（ヤン・ポールソン著，今井一夫監訳）。鹿島出版会，2000年5月30日発行。
 8. 「デンマークにおける高齢者住宅政策の移り変わり — 住居移動と自己決定の尊重 —」，本誌 14 号，pp. 417-442. 2001年3月29日発行。
 9. 『地球のおんなたち 2』（大阪外国語大学女性研究者ネットワーク編）。[分担：「デンマークにおける家庭生活と職業生活の両立支援 — 『家庭生活に配慮した職場』づくりを中心に」（pp. 246-255）]。嵯峨野書院，2001年5月31日発行。
 10. 『家族に潜む権力 — スウェーデン平等社会の理想と現実』（ユーラン・アーネ・クリスティーン・ロマーン著，善積京子・石黒 暢・斧出節子・釜野さおり・木村清美・木村泰子・高橋美恵子・レグランド塚口淑子・松田智子・友子・ハンソン共訳）。[分担：第2章「家事労働の分担」（pp. 41-86），第6章「再交渉されるジェンダー契約」（pp. 241-253）]。青木書店，2001年8月20日発行。
 11. 『スウェーデン・デンマーク福祉用語小辞典 [新装版]』（大阪外国語大学デンマーク語・スウェーデン語研究室編）。84pp. + 99pp. 早稲田大学出版部。2001年8月31日発行。
 12. 「第3章 高齢者と家族」，善積京子編『スウェーデンの家族とパートナー関係』，pp. 71-950. 青木書店，2004年11月19日発行。

清水育男

1. 「スウェーデン語史への文献案内」, 本誌 13 号, pp. 89-111. 1998 年 12 月 1 日発行.
2. 『世界のことば 100 語辞典 ヨーロッパ編』(千野栄一・石井米雄編). [分担: スウェーデン語]. ix+297pp. 三省堂, 1999 年 6 月 30 日発行.
3. 「スウェーデン語の助動詞 *få* の成立について — 義務的用法を中心に —」, 本誌 14 号, pp. 123-149. 2001 年 3 月 29 日発行.
4. 『アイスランドのサガ 中篇集』(菅原邦城・早野勝巳・清水育男共訳). [分担: 「赤毛」のエイリークルのサガ] (pp. 165-198). 東海大学出版会, 2001 年 8 月 20 日発行.
5. 『スウェーデン・デンマーク福祉用語小辞典 [新装版]』(大阪外国語大学デンマーク語・スウェーデン語研究室編). 84pp. +99pp. 早稲田大学出版部. 2001 年 8 月 31 日発行.
6. 『スウェーデン語発音概説』(世界を学ぶオリジナル語学教材開発プロジェクト). iv+70pp. 大阪外国語大学, 2002 年 3 月 29 日発行.
7. 『研究社 新英和大辞典 6 版』(竹林滋編). [担当: スウェーデン語発音表記]. xxi+2886pp. 研究社, 2002 年 3 月発行.
8. 「現代スウェーデン語の小辞 *om* の特徴と動詞との関係 — *igen* 〈再び〉と日本語の複合動詞「~直す」を比較して —」, 本誌 15 号, pp. 15-50. 2003 年 2 月 28 日発行.
9. 『世界のことば・出会いの表現辞典』(石井米雄・千野栄一編). [分担: スウェーデン語]. xiii+469pp. 三省堂, 2004 年 6 月 10 日発行.

新谷俊裕

1. 「*Den mand der kalder sig Alvard* vs. *Manden der ville være skyldig* — デンマーク語の小説の題名と制限的關係詞節の先行詞の限定方法について —」, 本誌 13 号, pp. 55-88. 1998 年 12 月 1 日発行.
2. 「現代デンマーク語基本語彙集 (3)」(共編), 『大阪外国語大学論集』第 20 号, pp. 89-99. 1999 年 3 月 30 日発行.
3. 「現代デンマーク語基本語彙集 (4)」(共編), 『大阪外国語大学論集』第 21 号, pp. 39-70. 1999 年 9 月 30 日発行.
4. 「現代デンマーク語基本語彙集 (5)」(共編), 『大阪外国語大学論集』第 22 号, pp. 113-140. 2000 年 3 月 31 日発行.
5. 「現代デンマーク語基本語彙集 (6)」(共編), 『大阪外国語大学論集』第 23

- 号, pp. 101-110. 2000 年 9 月 29 日発行.
6. 「デンマーク語の副詞 *ellers* の意味と用法」, 本誌 14 号, pp. 19-62, 2001 年 3 月 29 日発行.
7. 「デンマーク語 (スウェーデン語・ノルウェー語) の海水魚類名称の日本語訳 — いわゆる“マイナー言語”の辞書作りの困難; 英和辞典, 独和辞典と比較しながら —」, 『大阪外国語大学論集』第 24 号, pp. 151-184. 2001 年 3 月 30 日発行.
8. “gi”, Henrik Galberg Jacobsen & Jørgen Schack (red.). *Ord til Arne Hamburger på ottiårsdagen 11. juli 2001*. Dansk Sprognævn's skrifter 31, pp. 53-56. København: Dansk Sprognævn. 2001. 7. 11.
9. 『スウェーデン・デンマーク福祉用語小辞典 [新装版]』(大阪外国語大学デンマーク語・スウェーデン語研究室編). 84pp. + 99pp. 早稲田大学出版部. 2001 年 8 月 31 日発行.
10. 「デンマーク語の鳥類名称の日本語訳」, 『大阪外国語大学論集』第 25 号, pp. 159-188. 2001 年 9 月 30 日発行.
11. 「スウェーデン語の鳥類名称の日本語訳」, 『大阪外国語大学論集』第 26 号, pp. 185-214. 2002 年 3 月 22 日発行.
12. 「現代デンマーク語基本語彙集 (7)」(共編), 『大阪外国語大学論集』第 26 号, pp. 111-150. 2002 年 3 月 22 日発行.
13. 「現代デンマーク語基本語彙集 (8)」(共編), 『大阪外国語大学論集』第 27 号, pp. 83-110. 2002 年 9 月 30 日発行.
14. 『社会福祉のデンマーク語』(訳注). xiv+149pp. 大学書林. 2002 年 10 月 30 日発行.
15. 「デンマークの中央行政組織 *departement* の日本語訳をめぐって」, 本誌 15 号, pp. 67-92. 2003 年 2 月 28 日発行.
16. 「現代デンマーク語基本語彙集 (9)」(共編), 『大阪外国語大学論集』第 28 号, pp. 59-82. 2003 年 3 月 31 日発行.
17. 『音声記号習得および音声記号読み替え練習のためのデンマーク語基礎語彙集 — Molbæk Hansen 方式から改良 Dania 式発音記号へ —』(世界を学ぶオリジナル語学教材開発プロジェクト)(間瀬英夫・新谷俊裕共編著). viii+105pp. 大阪外国語大学, 2003 年 3 月 31 日発行.
18. 『デンマーク語慣用表現小辞典』(鈴木雅子・新谷俊裕共編著). xi+239pp. 大学書林. 2003 年 5 月 10 日発行.
19. 「現代デンマーク語基本語彙集 (10)」(共編), 『大阪外国語大学論集』第 29 号, pp. 111-138. 2003 年 9 月 30 日発行.

20. 「デンマーク語の“コンマ戦争”は終わりを見るか」, Nordlig, No. 5. 北欧留学情報センター, pp. 3-7. ビネバル出版, 2003年12月20日発行.
21. “Hvilken kommatering skal japanske studerende lære, den traditionelle eller den nye?”, Henrik Jørgensen og Peter Stray Jørgensen (red.). *På godt dansk. Festskrift til Henrik Galberg Jacobsen i anledning af hans 60 års fødselsdag 4. februar 2004*, pp. 253-257. Århus: Wessel og Huitfeldt. 2004. 2. 4.
22. 『デンマーク語のコンマ法 — コンマの諸規則. コンマ・レキシコン —』
(世界を学ぶオリジナル語学教材開発プロジェクト) (Dansk Sprognævn, Henrik Galberg Jacobsen og Peter Stray Jørgensen 著. 新谷俊裕訳編著), xiv+136pp. 大阪外国語大学, 2004年2月25日発行.
23. 「現代デンマーク語基本語彙集 (11)」(共編), 『大阪外国語大学論集』第30号, pp. 1-32. 2004年2月27日発行.

菅原 邦城

1. 「忘却されたオランダ商館長 — 日本に居住したスウェーデン人フレドリック・コイエット」, 本誌13号, pp. 237-258. 1998年12月1日発行.
2. 「現代デンマーク語基本語彙集 (3)」(共編), 『大阪外国語大学論集』第20号, pp. 89-99. 1999年3月30日発行.
3. “The First Swede on Japan’s Soil – Who and When? A note on the annotation of a modern edition of the contemporary source –”, 『北欧史研究 第16号/BALTO-SCANDIA Vol. 9』, pp. 134-140. バルト＝スカンディナヴィア研究会(東京), 1999年6月30日発行.
4. 「現代デンマーク語基本語彙集 (4)」(共編), 『大阪外国語大学論集』第21号, pp. 39-70. 1999年9月30日発行.
5. 「現代デンマーク語基本語彙集 (5)」(共編), 『大阪外国語大学論集』第22号, pp. 113-140. 2000年3月31日発行.
6. “‘The First Swede on Japan’s Soil’ Revisited”, 『大阪外国語大学論集』第23号, pp. 141-147. 2000年9月29日発行.
7. 「現代デンマーク語基本語彙集 (6)」(共編), 『大阪外国語大学論集』第23号, pp. 101-110. 2000年9月29日発行.
8. 「イエスに選ばれた女弟子 — M. Frederiksson: “Maria Magdalena” (1997) をめぐって —」, 本誌14号, pp. 301-321. 2001年3月29日発行.
9. 『アイスランドのサガ 中篇集』(菅原邦城・早野勝巳・清水育男共訳). [分担: 「くフレイル神ゴジ」フラヴンケルのサガ」(pp. 1-39), 「バンダマンナ・

- サガ」(pp. 121-164), 「あとがき」(pp. 199-202)]. 東海大学出版会, 2001年8月20日発行.
10. 『スウェーデン・デンマーク福祉用語小辞典 [新装版]』(大阪外国語大学デンマーク語・スウェーデン語研究室編). 84pp. + 99pp. 早稲田大学出版部. 2001年8月31日発行.
 11. 『角川世界史辞典』(西川正雄他編). [分担: 「アイスランド語」, その他の項目]. 角川書店, 2001年10月10日.
 12. 「現代デンマーク語基本語彙集(7)」(共編), 『大阪外国語大学論集』第26号, pp. 111-150. 2002年3月22日発行.
 13. 「現代デンマーク語基本語彙集(8)」(共編), 『大阪外国語大学論集』第27号, pp. 83-110. 2002年9月30日発行.
 14. 「アイスランドの今 火山と氷河の国が目指す産業立国」, 『週刊朝日百科 世界100都市 60号 ここに行きたい 北欧』, p. 24. 朝日新聞社(東京), 2003年1月28日発行.
 15. 「現代デンマーク語基本語彙集(9)」(共編), 『大阪外国語大学論集』第28号, pp. 59-82. 2003年3月31日発行.
 16. 「現代デンマーク語基本語彙集(10)」(共編), 『大阪外国語大学論集』第29号, pp. 111-138. 2003年9月30日発行.
 17. 「現代デンマーク語基本語彙集(11)」(共編), 『大阪外国語大学論集』第30号, pp. 1-32. 2004年2月27日発行.

高橋美恵子

1. 「スウェーデンにおける結婚とパートナー関係」, 善積京子編『結婚とパートナー関係 問い直される夫婦』, pp. 289-309. ミネルヴァ書房, 2000年5月30日発行.
2. 「カップルの解消における男女平等と権力 — ローンマザーのケース・スタディをもとにしたスウェーデンと日本の比較研究」, 本誌14号, pp. 359-388, 2001年3月29日発行.
3. 「多様化する家族生活 — スウェーデン人女性の経験から」, 大阪外国語大学女性研究者ネットワーク編『地球のおんなたち2』, pp. 225-235. 嵯峨野書院, 2001年5月30日発行.
4. 『家族に潜む権力 — スウェーデン平等社会の理想と現実』(ユーラン・アーネ・クリスティーン・ロマーン著, 善積京子・石黒 暢・斧出節子・釜野さおり・木村清美・木村泰子・高橋美恵子・レグランド塚口淑子・松田智子・友

- 子・ハンソン共訳). [分担:「日本語版への序文」(pp. 3-4),「労働大臣および労働事務次官殿, 目次, はじめに」(pp. 7-12), 第1章「家庭における交渉」(pp. 13-40), 第3章「賃金労働と家事労働の分担」(pp. 87-128), 第5章「不満, 対立と解消」(pp. 171-240)]. 青木書店, 2001年8月20日発行.
5. *Gender Dimensions in Family Life – A comparative study of structural constraints and power in Sweden and Japan.* (Doctoral dissertation). Stockholm Studies in Sociology. N.S.15. Almqvist & Wiksell International. 2003.
 6. 「社会のジェンダー論理と家庭における女性のエンパワーメント — 日本・スウェーデンの既婚就労女性の視点から —」, 本誌 15 号, pp. 165-182. 2003 年 3 月 28 日発行.
 7. “Marital Power in Japan in Comparison to Sweden: Considering of Wife’s Employment Status” (Kyoko Yoshizumi & Mieko Takahashi 共著), le Grand, Carl & Toshiko Tsukaguchi-le Grand (eds.). *Women in Japan and Sweden. Work and Family in Two Welfare Regimes.* Stockholm Studies in Sociology. N.S.18, pp. 202-233. Almqvist & Wiksell International, 2003.
 8. 「スウェーデンの婚姻法とパートナーシップ法」, 「スウェーデンのサムボ法」, 内閣府経済社会総合研究所『スウェーデンの家族と少子化対策への含意 — 「スウェーデン家族生活調査」から —』, pp. 35-37. 内閣府, 2004 年発行.
 9. 「少子化と人口減少 最終回」, 『日本経済新聞』経済教室 29 面. 2004 年 8 月 6 日発行.
 10. 「スウェーデン型男女平等社会に学ぶ少子化対策」, 『月刊 地方自治職員研修』第 37 巻 No.11, pp. 21-23. 公職研, 2004 年 11 月 15 日発行.
 11. 「第 4 章 ローンマザー・ファミリー — 離別後のライフスタイル —」, 善積京子編『スウェーデンの家族とパートナー関係』, pp. 97-115. 青木書店, 2004 年 11 月 19 日発行.

田 辺 欧

1. 「アンデルセン「影法師」考 — ロマン主義における影のゆくえ —」, 本誌 13 号, pp. 217-236. 1998 年 12 月 1 日発行.
2. 『デンマークの歴史』(橋本淳編). [分担:「第 6 章 第 1 節 1) デンマークのロマン主義とアンデルセン, 2) アンデルセン」(pp. 138-147)]. 創元社, 1999 年 6 月 20 日発行.
3. 「エーディット・セーデルグラン詩集」(翻訳), 世界文学研究会編『世界文

- 学（5）』, pp. 85-121. 大阪外国語大学, 2000年3月30日発行.
4. 「アンデルセンと音楽 — ロマン派作曲家たちとアンデルセン」, 『アンデルセン研究』第18号, pp. 1-24. 日本アンデルセン協会, 2000年6月発行.
 5. 『きみにもできる国際交流②⑩ デンマーク・スウェーデン・ノルウェー』(田辺欧監修・こどもくらぶ編・著). 47pp. 偕成社, 2001年1月発行.
 6. 「デンマークに持ち帰られたアンデルセン翻案童話 — 『日本のお伽噺 霞の衣』(「皇帝の新しい着物」)をめぐって —」, 本誌14号, pp. 323-344. 2001年3月29日発行.
 7. 『スウェーデン・デンマーク福祉用語小辞典 [新装版]』(大阪外国語大学デンマーク語・スウェーデン語研究室編). 84pp. + 99pp. 早稲田大学出版部. 2001年8月31日発行.
 8. 「デンマークに持ち帰られたアンデルセン翻案童話をめぐって」, 子どもの本・翻訳の歩み研究会編『図説 子どもの本・翻訳の歩み事典』, pp. 44-45. 柏書房, 2002年4月30日発行.
 9. 「作家と思索家のあいだ — Villy Sørensen にささげるオマージュ —」, 本誌15号, pp. 145-164. 2003年2月28日発行.